

河川に必要な水の確保の対策案 2（河道外貯留施設案）について

■整備内容

【位置】

現計画ダム地点（ダムと同等の効果が発揮できる位置）

【流水の正常な機能維持容量】

容量 約 600 千 m^3 （内ヶ谷ダム流水の正常な機能の維持容量）

■長所

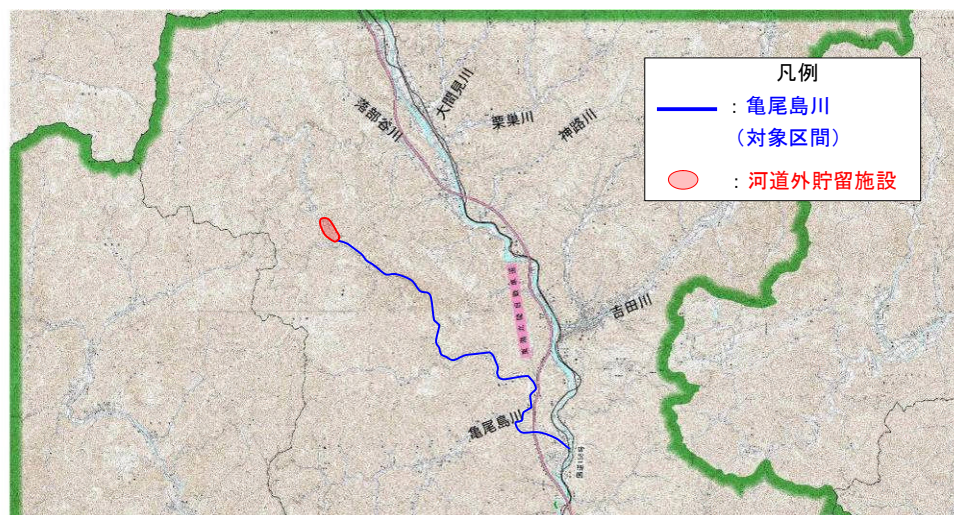
- ・ 河道外に設置するため、河川の水量、水質自体に変化を生じさせない。
- ・ 適切な場所を選定することで、周辺環境の改変を抑えられる。

■短所

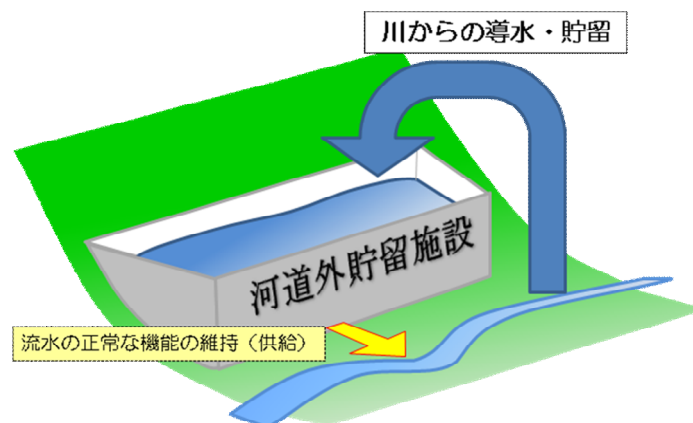
- ・ 川から貯留施設に導水する導水施設が新たに必要となる。
- ・ 河道外の比較的広い範囲の用地を確保する必要がある。

■概略事業費

総事業費 約 133.4 億円
 ・ 貯留施設建設費 約 133.4 億円



図—1.1 河道外貯留施設案位置図



図—1.2 河道外貯留施設イメージ